



# 各地からの便り

「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

インド国ウッタラ  
カンド州治山ワー  
クショップに参加



## 【上川北部森林管理署】

2月22日～3月2日にかけて、インド国ウッタラカンド州において開催された「治山技術のインド・ヒマラヤ地域への着実な導入」をテーマとした治山ワークショップに当署の治山担当職員が参加しました。

この州では、2013年に大規模な山地災害が発生し、国際協力機構（JICA）は、植林等の森林環境回復活動を支援するほか、被災地における治山を支援しています。今回の工事はインドで初めての治山工事ということもあり、ワークショップでは治山工事を実施する上で何に留意しなければいけないかを中心に、講演を行いました。日本の治山技術や知識が、役に立って欲しいと思います。

平成30年度地域  
管理経営計画等に  
関する懇談会を開  
催



## 【北海道森林管理局】

3月14日、平成30年度地域管理経営計画等に関する懇談会を開催しました。当日は、十勝森林計画区、上川南部森林計画区、網走西部森林計画区の地域管理経営計画・施業実施計画（案）の説明と、北海道森林管理局の取組事項の実施状況について説明しました。

懇談会の委員からは、森林情報をより一層公開して欲しい、あるいは、国有林の職員が地域の森林・林業のコーディネイターとして力を発揮して欲しいといった要望がありました。

北海道森林管理局では、これらの意見を参考にしながら、計画に則って国有林野の管理経営を進めて行きます。

野幌小学校「愛林少年  
団」の解団式に出席



## 【石狩森林管理署】

2月21日、江別市の小規模特認校である野幌小学校で愛林少年団活動の今年度の解団式が開かれました。

野幌自然休養林が学校に隣接し、身近にあることから全校児童が「愛林少年団」を結成しています。また、野幌小学校と当署は「遊々の森」協定を締結しており、通称「元気の森」等の森林をフィールドにした学習活動を積極的に行っています。

およそ50年間も続く歴史ある愛林少年団活動の益々の発展を願って、今後とも、野幌森林事務所としても森林の重要性などを理解していただく愛林少年団の取組に更に協力していきたいと考えています。

大雪山森林生態系  
保護地域ボランテ  
ィア巡視員会議を  
開催



## 【上川中部森林管理署】

2月22日、大雪山森林生態系保護地域ボランティア巡視員会議を開催しました。当日は、山岳ガイド、自然保護関係者、山岳会会員、地元観光事業者、国立大雪青少年交流の家職員など約30名の方が参加されました。

大雪山地域は、大雪山国立公園に指定されるなど、貴重な自然及び壮大な山岳景観を有し、多くの観光客が訪れます。北海道森林管理局では、大雪山森林生態系保護地域に指定し、その自然環境の保護を図っています。

この会議は今年で3年目となりますが、大雪山と関わりの深いみなさんと手を取り合って、この地域の保護と利用の両立を図る取組を継続していきたいと考えています。

北大との連携協定に基づき講演会を開催  
 ～強い風害後60年間の森林の動態～

【企画課】

3月12日、北海道森林管理局大会議室において、北海道大学大学院農学研究院 渋谷准教授による講演を開催し、北海道森林管理局の職員約90名が熱心に耳を傾けました。

講演のポイントは以下の通りです。  
 ○針葉樹率が高いほど、平均直径が大きいほど被害が大きいななど風害前の林相と被害率は関係がある。  
 ○現在は全ての調査地で広葉樹が優占している。

○立木本数は風害後増加し、35～40年で最大となりその後は減少する。  
 ○樹種構成の多様性は20～30年で最大となりその後やや減少するが風害後よりも大きい。

○60年後、量的には回復したが小径木が多く、林分構造の回復にはまだ長期間を要する。

など、強い森林攪乱後の回復過程を詳細に調べた内容について、データに基づき分かり易く説明して頂きました。

多様な森林づくりを推進する上で大変参考になりました。



渋谷准教授

新規採用者向け業務説明会を開催！

【総務課】

3月1日、北海道科大学にて国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）の受験を希望する方を対象に各官庁が合同で実施する業務説明会を開催し、説明会には24名が参加しました。

また、3月5日には北海道森林管理局にて同じく一般職試験（大卒程度試験）の受験希望者に対し、オープンゼミを開催し、9名が参加しました。



採用1年目の職員からの説明

説明会では、国有林の特色や平成31年度の採用試験について説明するとともに、若手職員が志望動機や現場業務の楽しさなどを説明しました。

国有林は私たちの普段の生活場所から離れたところに多くあるため、仕事の様子を目にするのが少なく業務の内容を具体的に想像するのはなかなか難しいですが、今回の説明会を機に林野庁・北海道森林管理局を知ってもらいより自然や森林に興味を持ってもらえればと思います。

北海道森林管理局は、広大で豊かな森林を国民共通の財産として、世代を超えたさまざまなニーズにこたえられるよう、持続的な管理運営に努めるとともに、より豊かな姿で次の世代に引き継ぐことを使命としております。

北海道森林管理局のホームページ内では、森林づくりの取組のほか、「公売・入札情報」「森もり！スクエア」「イベント情報」「登山に関する通行規制」等の各サイト内において北海道国有林の情報をお届けしております。



お知らせ

新コーナー  
 「森林（もり）の話」

今月号から隔月で、「森林（もり）の話」を掲載します。  
 北海道森林管理局の若手職員が筆者となり、森林のこと、樹木のこと、森林の中で体験したこと、感じたことなど様々な事柄を皆様にお届けします。  
 初めてのコーナー新設に、筆者も編集者もドキドキですが、皆様にもワクワク、ドキドキしていただきたいと思います。

広報 「北の森林 国有林」4月号  
 発行 林野庁北海道森林管理局  
 編集 総務企画部 企画課  
 〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70  
 I P 電話 050-3160-6300  
 電 話 011-622-5213  
 F A X 011-622-5194

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/